

にごゼミ

2026年3月20日、アメリカ・イスラエルとイランの間で大きな戦争が始まってしまいました。本来、他者への攻撃という発想は心が抱える「恐怖」から生じます。トランプもネタニヤフも、いったい何を恐れているのでしょうか。戦争の他にも、今世界には貧困、差別、分断、環境破壊など様々な問題が山積しています。それらを生み出している大元は、物質の繁栄こそが幸せだという間違った価値観です。物質的な豊かさはどれだけ求めても際限はなく、その先に「幸せ」はありません。僕らの真の幸せは、魂が求める生き方の中にあります。それは、「霊性(スピリチュアリティ)」を求める生き方と言い換えてもいいでしょう。

本ゼミナールでは、長年霊性を研究してきた濁川とともに、対話を通じて自己の霊性と真剣に向き合います。「生きる意味とは」「真の豊かさとは」という根源的なテーマを語り合い、日常をワクワクとした喜びに変える新たな視点を探求しましょう。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

にごりかわ たかし
濁川 孝志

立教大学名誉教授
医学博士



【講師紹介】

立教大学で30年以上にわたって教鞭をとり、学生と共に霊性について真摯に問い続けてきた。自身が創案した霊性の評定尺度JYSを用い、学生の霊性のレベル、生きがい感、見えない世界への理解の向上を学術的に実証し、「霊性は教育によって醸成できる」ことを明らかにした。「霊性の喪失が現代社会の様々な問題を生み出している」という確信から、数々のイベントを通じ霊性の重要性を伝え続けている。

【著書】

『星野道夫 永遠の祈り (でくのぼう出版)』『星野道夫の神話 (コスモス・ライブラリー)』『ガイアの伝言 (でくのぼう出版)』『龍星の羅針盤 (でくのぼう出版)』『大学教授が語る霊性の真実(でくのぼう出版)』『70歳でフルマラソン(つむぎ書房)』『いきたひ〜魂のルネサンス(つむぎ書房)』『響沁浴 (ギャラクシーブックス)』『日本の約束 (でくのぼう出版)』『スピリチュアリティ研究の到達点と展開 (コスモス・ライブラリー)』ほか。

アラスカを舞台に活動した写真家・星野道夫の思想・価値観と、映画『ガイアシンフォニー』を生み出した龍村仁監督の思想・価値観などをメインに取上げ、その背景にある霊性や自然への眼差しを紹介し、以下の各テーマについて学びます。

- ・星野道夫という人: 星野道夫の言葉から
- ・龍村仁という人: 龍村仁の言葉から
- ・霊性とは何か
- ・霊性を培うもの
- ・自然と霊性の関係
- ・人と自然の関係性
- ・熊たちのメッセージ
- ・想いが現実を創る
- ・シンクロニシティ
- ・幸せの在り方
- ・教育とは何か
- ・もうひとつの時間
- ・神話とは何か

【全8回 参加】20,000 円 【各1回参加】3,000 円

全8回スケジュール

土曜日 13:00 ~ 15:00

5月 23日
6月 13日
7月 11日
8月 29日
9月 26日
10月 24日
11月 14日
12月 12日

「子どもたちの未来は、私たちの魂の豊かさから生まれる」

会場

〒141-0021

品川区上大崎 3-5-4 第2 田中ビル 3階 KUMON 目黒
目黒駅から白金台方面 徒歩約7分 ※公文式上大崎3丁目教室が目印

チケットの
お申込みは
こちら→



一般社団法人

ネオアカデミア



お問合せ

info@neo-academia.org